

那覇市から太平洋の島国サモアへ水道管理技術を伝える！
那覇市上下水道局職員が約30日間サモアへ渡航し、水道公社へ
技術協力を行います！！

那覇市上下水道局職員の大濱拓郎さんが「沖縄連携によるサモア水道公社維持管理能力強化プロジェクト フェーズ2」の専門家として、6月8日からサモアへ渡航し、現地での技術指導を行います。

2014年から2019年までの5年間にわたり、沖縄県内の水道事業体による技術支援を背景に、サモア国内の首都アピアの給水区の水道の課題を解決していくために、「沖縄連携によるサモア水道公社維持管理能力強化プロジェクト」プロジェクトが実施されました。沖縄の水道自治体から派遣された33名の専門家の熱心な現地での技術技術移転活動、サモア水道公社職員を対象とした沖縄における研修は、サモアの首都アピアの水道事業の改善に大きく貢献しました。

この活動経験と実績を生かし、サモアの中で対象となるエリアを拡大、そしてサモア水道公社内で技術継承できるような研修体制の構築を行いサモアの水道事業をさらに強化していく目的で、2021年～2025年にかけて「沖縄連携によるサモア水道公社維持管理能力強化プロジェクト フェーズ2」が始動しています。

2022年の秋には、管路施工や漏水修理の分野で、名護市環境水道部、名護市管工事組合から2名の職員が約40日間現地で技術指導を行いました。今回プロジェクトの第二陣として、6月8日からは那覇市上下水道局の大濱拓郎さんが専門家としてサモアへ渡航し、サモアの水道管等の資産管理分野の指導を通じて、サモアの水道公社の無収水（料金徴収に繋がらない水）を減らし、サモア水道公社の経営改善に繋げることを目的に約30日間活動されます。

また、7月には沖縄県企業局から2名の職員が専門家としてサモアに派遣される予定であり、まさに沖縄内の水道分野の自治体が連携・協力しながら、沖縄の技術を世界に発信しています。

皆さまの取材をお待ちしております。現地での活動の様子はJICA沖縄HPやFacebookでも発信いたします。

那覇市上下水道局 大濱さんの派遣期間は以下のとおり。

沖縄出発：2023年6月8日（木）出発

沖縄戻り：2023年7月14日（金）予定

取材・本件に関するお問い合わせ先

独立行政法人国際協力機構（JICA）沖縄センター 研修業務課 担当：松原 真穂

TEL 098-876-6000 E-mail: Matsubara.Maho@jica.go.jp

※那覇市上下水道局への直接のお問い合わせはご遠慮ください